

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

ここに第43期(2016年3月期)の事業の概況をご報告いたします。

当期クレオグループは事業の選択と集中によるグループ変革を企図して、2015年4月に筆まめ事業を譲渡いたしました。これにより一時的な売上高、経常利益の減少はあるものの、新たな事業拡大を目的として M&A を実施するなど、中長期を見据えた成長戦略の遂行に着手いたしました。

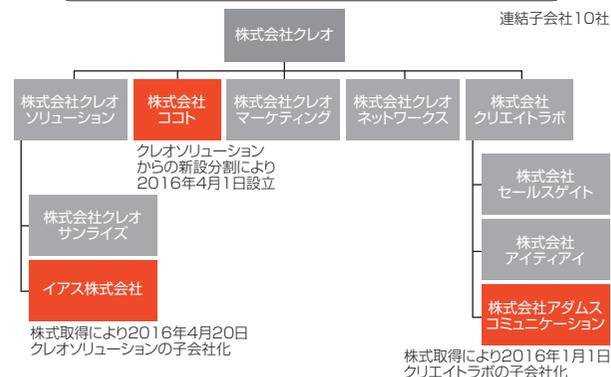
TOPICS

当期クレオグループは中長期を見据えた成長戦略の遂行のため、M&Aや新会社設立等を通して、事業・業績の拡大に取り組んでおります。

(新たな期となる2016年4月以降に実施した施策についても記載しております。)

また、グループのシナジーを最大化すべく、2017年4月にはグループの事業・組織再編を計画しております。

2016年6月現在のクレオグループ組織図



さらに2016年3月には大幅なグループの事業・組織再編に向けて検討を開始することを発表し、2017年4月の新体制始動に向けて再編計画の策定を進めております。

現在クレオグループは変革の途上にあります。

今後も株主の皆様からの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月

代表取締役社長

阿南 祐治

株主還元

当期年間配当

普通配当5円 + 特別配当10円
→ 年間配当15円

次期以降の配当方針

連結配当性向40%を目標

当社の利益配分に関する方針は、長期にわたる安定的な経営基盤の確保と長期的な成長を可能にするための投資に必要な原資の確保に努めるとともに、株主の皆様に対する安定的な配当を継続することを基本としております。

当期の期末配当につきましては、当期の通期業績および今後の資金需要等を総合的に勘案した結果、2015年4月に実施した株式会社筆まめの株式譲渡による特別利益の一部を株主の皆様へ還元することが望ましいと判断し、普通配当5円に特別配当10円を加えた計15円といたしました。

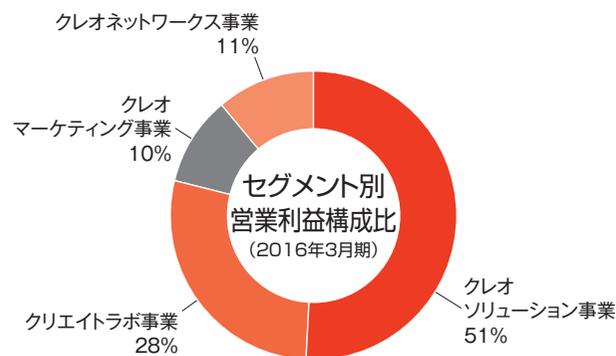
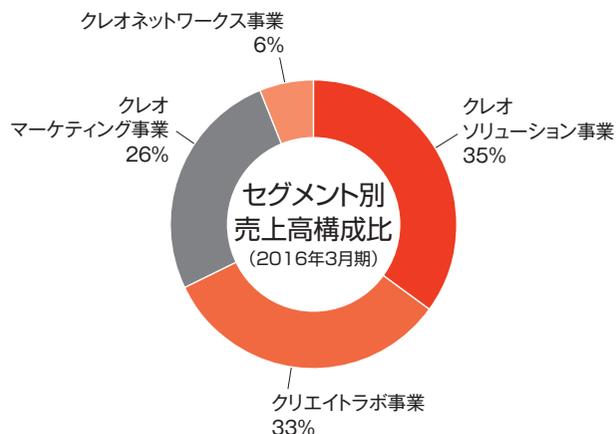
これにより中間配当金(0円)と合わせた年間配当金を1株につき15円とさせていただきます。

なお、2017年3月期以降の配当方針につきましても、上記の基本方針の下、株主の皆様への長期的な利益還元を更に充実させるため、連結配当性向40%を目標として、当社グループの連結業績の向上に応じた株主の皆様への利益還元の強化に努めてまいります。

(ご参考:連結配当性向 2015年3月期実績 20.3%、2016年3月期実績 31.4%)

<http://www.creo.co.jp>

ホームページ上でもIR情報を公開しています。



クレオソリューション事業

システムやネットワークの構築から、各種業務アプリケーションの開発

売上高については、アウトソーシング事業を中心に既存顧客からの受注減により2億17百万円減少しましたが、プロジェクト管理を徹底し不採算プロジェクトの発生防止、人員配置の最適化等を実施したことにより、営業利益については、前期比で13百万円増加いたしました。

その結果、売上高は36億49百万円(前期比5.6%減)、営業利益2億26百万円(前期比6.3%増)となりました。

クレリエイトラボ事業

ヘルプデスク・テクニカルサポートを中心としたサポート&サービス、システム運用監視、サーバ構築、システム保守サービス、IT機器販売

売上高については、2016年1月に株式会社アダムスコミュニケーションを連結子会社としたことにより増加しましたが、既存顧客からのコストダウン要請等の影響により受注額が縮小し、前期比で56百万円の増加に留まりました。

営業利益については、継続的な費用削減の取り組み等を行ったものの、売上高減少の影響により、前期比で11百万円の減少となりました。

その結果、売上高は34億3百万円(前期比1.7%増)、営業利益1億24百万円(前期比7.8%減)となりました。

クレオマーケティング事業

基幹系・情報系業務ソリューションから、組み込み系ソフトウェアまで、トータルICTソリューションの開発・提供

売上高については、人事給与、会計を中心とした「ZeeM」シリーズ製品の販売が、マイナンバー制度導入に伴う需要増、およびアマノ社による販売増により堅調に推移したことに加え、アマノ社向けなどシステム開発受注が増加したことにより、前期比で2億30百万円増加いたしました。

営業利益については、売上増に伴う増加に加え、過年度から継続していた不採算プロジェクトの影響を解消したこと等により、前期比で20百万円増加いたしました。

その結果、売上高は26億62百万円(前期比9.5%増)、営業利益45百万円(前期比85.3%増)となりました。

クレオネットワークス事業

ITSM・ITILに準拠したITサービス管理ソリューション、ICT基盤サービスプラットフォームの提供

売上高については、前年度(2015年1月)にメディア事業を譲渡したことにより前期比で減少があったものの、ビジネス基盤サービス「SmartStage」を中心としたサービス展開に注力したことにより、前期比で19百万円増加いたしました。

営業利益については、メディア事業譲渡による減少があったものの、「SmartStage」の売上増に伴う利益増に加え、開発投資を適正な水準としたことによる原価削減効果等により、前期比で46百万円増加いたしました。

その結果、売上高は5億89百万円(前期比3.5%増)、営業利益50百万円(前期3百万円、1,277.0%増)となりました。

【お知らせ】

- ご注意
 - 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金計算書について

同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

なお、配当金を証券口座でお受取り(株式数比例配分方式)の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 ジャスダック市場
公告の方法	電子公告の方法により行う。 公告掲載URL http://www.creo.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

株式の状況

■発行済株式総数 9,237,319株

■株主数 909名

■大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
アマノ株式会社	2,645,000	30.5%
ヤフー株式会社	1,100,000	12.7%
クレオ従業員持株会	224,665	2.5%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	185,000	2.1%
DEUTSCHE BANK AG LONDON-PB NON-TREATY CLIENTS	174,000	2.0%
江本 英雄	169,000	1.9%
吉岡 裕之	143,000	1.6%
MSIP CLIENT SECURITIES	130,000	1.5%
加賀美 忍	120,000	1.3%
三木 美枝	117,000	1.3%

(注) 持株比率は、自己株式(586,055株)を控除して計算しております。

株式会社クレオ

〒108-0014
東京都港区芝5丁目13番18号
TEL : 03-6866-0330
FAX : 03-6414-6298

